

## 令和8年度 園経営計画 足立区立おおやたこども園

園長 中山 清子

## 1 園の経営目標

- (1) 子どもの最善の利益を第一に考え、子どもや保護者、地域との信頼関係を築き、『共育』を進めていくことで子どもや保護者にとって安心して自分の思いが出せる園づくりを進める。
- (2) 深い愛情、様々な出会い、かかわり合いを通して「感じるころ」「かかわるよろこび」「やりぬくつよさ」をもった子どもを育てる。
- (3) 人権尊重の理念に立ち、専門性の学びを活かし、子どもの健全な発達を図る。

## 2 園の現状

- (1) 朝から夕方まで子どもが遊ぶ物や場所を選び、身体を動かしたり異年齢と交流したりしながら主体的にのびのび遊ぶ子どもの姿が見られる。
- (2) 子どもの多様性を尊重し、その子らしく輝いて力を発揮できるよう教育・保育を進めている。
- (3) 運動、音楽、絵本のプロジェクトが活発で室内外を利用してそれぞれが環境構成し、子どもが「やってみたい」と思える遊びの保障が子どもの育ちに繋がっている。

## 3 今年度の重点的項目

重点的に取り組んでいきたい事項-1	自分自身を大切にし、他者も大切に思える気持ちを育てる。
具体的な取り組み	
項目	具体的な内容
(1) 人権尊重の理念に立ち、多様性を尊重した教育・保育の推進	ア 人権やインクルーシブ保育について全職員で学び合い共通認識を図り、実践していく。 イ 園内会議を実施し、子ども理解を深めることでその子らしさを見出しそれを大事にした教育・保育を行う。
(2) 子どもに温かな関心を持ち対話を大切に心身共に安心できる環境を作る。	ア 子どもの思いを丁寧に受け止め、応答的なやり取りを重ねることで安心して自己表現できる環境を整える。
重点的に取り組んでいきたい事項-2	子どもの好奇心や探求心を支えじっくりと遊びこめる環境の中で主体性を育み健全な発達を促していく。
具体的な取り組み	
項目	具体的な内容
(1) 子どもの意欲や試行錯誤する思いが発揮できる環境を作る。	ア 運動、絵本、音楽のプロジェクトを計画的に実施し、室内外にワクワクする遊びや試行錯誤、満足いくまで遊べる環境の工夫と再構成を行うなど環境設定していく。
(2) 子どもの心身の発達を考慮し伸びやかな成長に繋がる教育・保育を行う。	ア 子どもの心身の発達を捉え一人一人の遊びが保障される環境を整え、その子の伸びようとする力を支えていく。
重点的に取り組んでいきたい事項-3	職員一人一人が専門性を高め、教育・保育の質の向上を図る。
具体的な取り組み	
項目	具体的な内容
(1) 園内研修を実施し、その学びを実践で生かしていく。	ア 外部講師による研修の受講や園内研修を行う。それぞれが研修で学んだことをまとめ会計年度任用職員も含めて全職員で共通認識し実践する。
(2) 園内支援会議を実施し、子ども理解につなげていく。	ア 教育・保育の中の困り感についてシートを作成し、会議の中で協議し解決策を見出し実践していく。その後、子どもの変化を見取り、子ども理解につなげていく。